



### Ⅲ. 事業推進にあたって



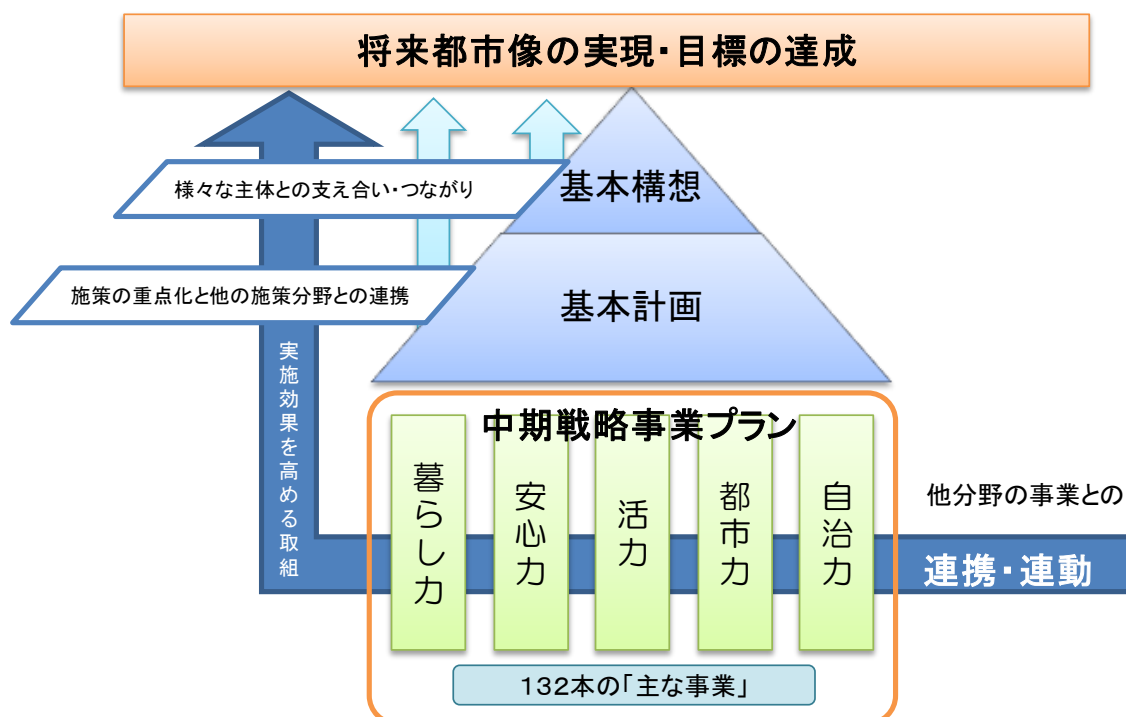
## 1. 事業推進にあたって

少子高齢社会の進展などの社会環境の変化に伴い、市民ニーズは高度化し、これまでに増してきめ細かな行政サービスの提供が求められています。また、地方自治体を取り巻く厳しい財政状況などから、行財政改革の更なる推進による財政健全化は喫緊の課題であり、事務事業の効率的な実施、最小の経費で最大の効果をもたらす事務執行の工夫や効果的な業務改善が求められています。

こうしたニーズや課題に適切に対応していくことは行政だけでは困難であることから、基本構想においては、市民、地域、企業、団体などの様々な主体との支え合い、つながりによる将来都市像の実現を掲げ、前期基本計画では、目標をより効果的に達成するために他の施策分野と連携して推進していくこととしています。また、事業プランにおいても、基本構想や前期基本計画によるまちづくりの基本的な認識を踏まえながら、分野別の具体的な事業を推進していくこととします。

しかし、これらに加え、事業プランにおける事業の推進に当たっては、**関連する他分野の事業進捗により影響を受ける事業、他の分野の事業と同時に実施することで、相乗効果を発揮する事業**などが多数あり、行政内組織間の分野を超えた連携・連動により事業を実施していくことで、更に事業の実施効果を高めることが可能となります。

そのため、本事業プランでは、前期基本計画の施策体系に応じ位置付けた分野別の各事業を、組織間の横断的な連携を図り、限られた人的、物的資源等を効果的に活用し、的確かつ適正な行政運営を推進していくこととします。



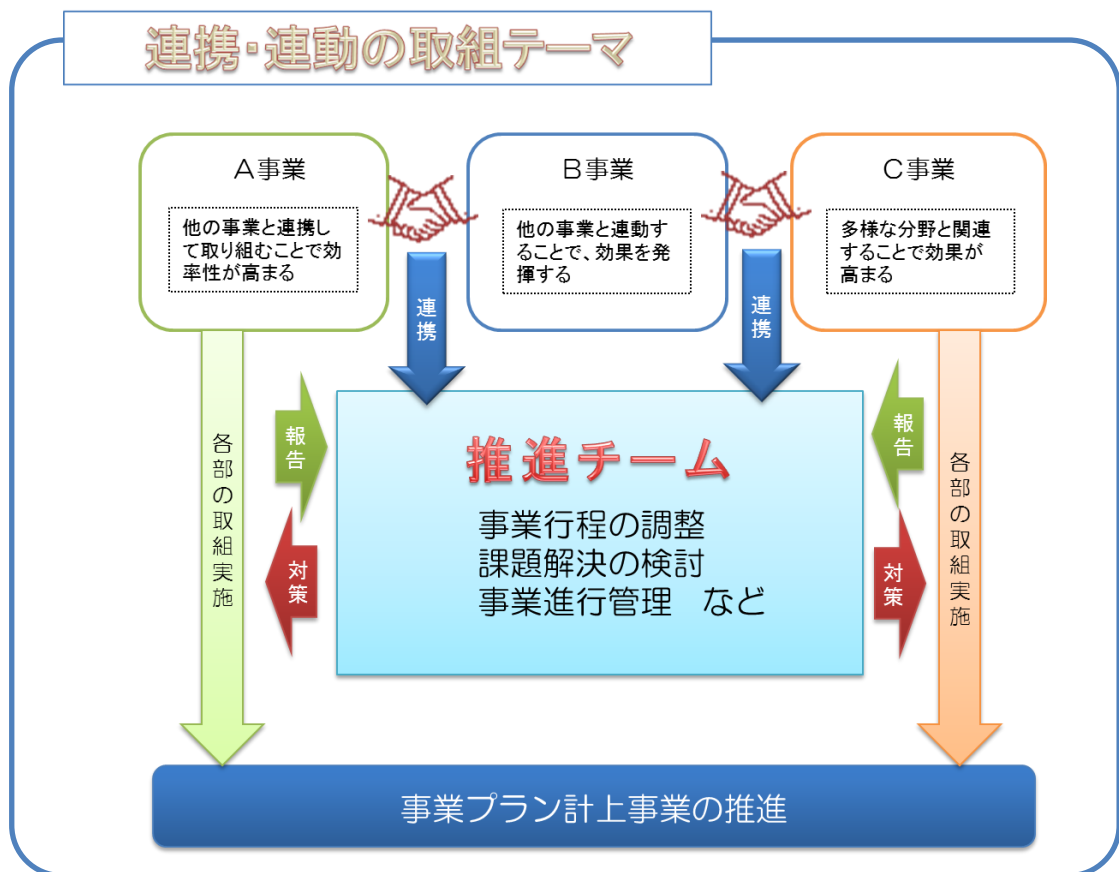
## 2. 連携・連動による取組の推進体制

事業プランに掲げた132本の事業について、組織間における連携・連動による取組の推進体制を強化し、事業の実効性を高めるため、必要に応じ、関係部署間による推進チームを設置します。この推進チームでは、他分野、他事業に関連する取組の推進に向け、推進方策の検討、各事業の進捗状況の確認、事業実施に向けた行程調整などを行います。

推進チームは、①事業推進に向けて多様な分野において調整を要するもの、②本市を取り巻く大きな課題に的確に対応するもの、③本市の強みを最大限発揮し最大の効果をもたらすものなど、132本の事業の中で特に連携・連動を図る必要があるものからテーマを選定し、複数のチームを設置します。

また、それぞれのチームには、チームマネージャーを配置し、事業の推進に向け、迅速かつ適切な対応が図れるよう組織機能を発揮し、連携・連動事業の着実な推進を図ります。

### ◆推進チーム



## 伊勢原市第5次総合計画 中期戦略事業プラン

平成25年10月発行

編集・発行

 伊勢原市 企画部 経営企画課

〒259-1188 伊勢原市田中 348 番地

TEL 0463-94-4711

FAX 0463-93-2689

E-mail : kikaku@isehara-city.jp

<http://www.city.isehara.kanagawa.jp>

# 伊勢原市第5次総合計画 中期戦略事業プラン



伊勢原市公式イメージキャラクター  
クルリン